

◎注意事項をよくお読みください。

先週の動きと今週の見通し No.735

(2017年8月7日～2017年8月11日)

■ポイント

- ◇ 先週の米国経済指標は先行きを懸念する内容ではない
- ◇ 米経済指標を受けてマーケットの利上げ観測に大きな変化はない
- ◇ 日米ともに株価と政治が密接な関係にある局面

		先週末値		今週の予想	
短期金利	無担保(翌日物)	-0.054 %	→ もみ合い	-0.080 ~	-0.020 %
	円TIBOR(3ヶ月)	0.057 %	→ もみ合い	0.045 ~	0.065 %
長期金利	新発10年債	0.060 %	→ もみ合い	0.050 ~	0.100 %
	先物中心限月	150.26 円		149.90 ~	150.40 円
円/円スワップ	5年	0.11 %	→ もみ合い	0.08 ~	0.14 %
	10年	0.25 %		0.23 ~	0.28 %
米国金利	ドルLIBOR(3ヶ月)	1.312 %	→ もみ合い	1.30 ~	1.35 %
	T-Note(10年)	2.262 %	↘ 金利低下	2.05 ~	2.35 %
株式相場	日経平均	19,952.33 円	↘ 下落	19,500 ~	20,200 円
	NYダウ	22,092.81 ドル	↘ 下落	21,500 ~	22,200 ドル
為替相場	ドル・円	110.69 円	↘ ドル下落	108.00 ~	112.00 円
	ユーロ・ドル	1.1773 ドル	↘ ユーロ下落	1.1500 ~	1.2000 ドル
	ユーロ・円	130.31 円	↘ ユーロ下落	128.00 ~	133.00 円

■ウィークリーコメント

先週は米国で重要経済指標の公表が相次ぐ

先週は米国で重要な経済指標がいくつか発表されました。まず、米国の7月自動車販売台数は年率換算で1,669万台(6月1,659万台←速報1,641万台から上方修正)と前月比増加しました。前月比での増加は、4月以来のことです。しかし、前年比ベースでは、▲6.0%と6月▲2.4%からマイナス幅が拡大しております。米国大手自動車メーカーが軒並み二桁の減少と厳しい結果となっていることが懸念されます。

米国景気の先行きを懸念する状況とはなっていない

またグローバルな製造業循環の先行指標となる7月ISM製造業景況指数が公表され、7月56.3と6月57.8と小幅鈍化しましたが、こちらは引き続き高水準を維持しています。主要項目も新規受注6月63.5→7月60.4、雇用6月57.2→7月55.2、輸出6月59.5→7月57.5と鈍化していますが、底堅さを維持していると言えます。図表1の通り、今年に入り、自動車販売台数等のハードデータと企業景況感等のソフトデータの乖離がみられますが、景気先行的なソフトデータの動きを見る限り、米国景気の先行きを懸念する状況とはなっていないと言えます。

その他の指標でやや懸念されるのは、(以下次頁)

◎注意事項

*当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否とに拘わらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。

*また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願い致します。

雇用統計は良好

(前頁より)7月 ISM 非製造業景況指数の動きです。こちらは、総合指数が市場予想 56.9 に対し、53.9 と下回りました。これは昨年 8 月以来の低水準となります。製造業と比較しても落ちです。落ち込みが急であり、一時的な動きか 8 月以降の数字を見極める必要があると思われます。一方、週末に公表された米雇用統計は、全般に市場予想を上回る結果となりました。非農業部門雇用者数は前月比+209 千人と市場予想+180 千人を上回りました。賃金については、平均時給は前月比+0.3% (6 月+0.2%) と予想通りでしたが、前年比は +2.5% (6 月+2.5%) と市場予想+2.4% は上回っています。

今週の米指標を受けて利上げ観測に変化なし

今週の一連の重要経済指標を受けて、米国の政策金利の先物市場から見た年内の利上げ確率は 7/28 の 38.7% から 8/4 の 40.2% とわずかにしか動いておりません。先週は FRB の要人発言が相次ぎましたが、概ね 9 月にバランスシート縮小開始を発表することには前向きである一方、物価や賃金動向には慎重な見方が多く、利上げについても前向きな意見は見られませんでした。今週も FRB 要人発言が相次ぐことや米消費者物価指数の発表があり、動向が注目されますが、急速に利上げ観測が高まり、ドルが買われるような環境ではないと思われます。

米国政治が引き続き混乱

注目されるのは米国の政治動向です。先週、就任わずか 10 日のスカラムッチ広報部長が解任されるなど、相変わらずの混乱状況です。またトランプ大統領とロシアとの不透明な関係を巡る「ロシアゲート」の捜査に当たって、大陪審を設置するとの報道もありました。トランプ大統領の支持率は低下傾向にあります。コアの支持層があり、一定の下支えとなることが言われています。週末時点の水準は 38.5% と直近では最低水準にあります。この水準を明確に下回っていくようであれば、コアの支持層を含めた大統領からの離反を示唆し、現状底堅さを示しているリスク資産にも影響が出てくる可能性があります。

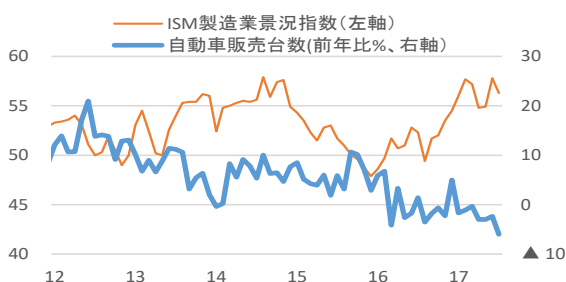
政治の混乱が实体经济に及ぼすリスクに留意

一方で、期待感が低いだけに、先週末はコーン米国家経済会議 (NEC) 委員長の「税制改正を年内に成し遂げる自信がある」とのコメントがドルや株価の上昇材料となる場面も見られました。今週は米議会の夏休み前の審議動向が注目されます。いずれにしても、先週、フィッシャーFRB 副議長が「ヘルスケアや規制、税制、貿易の政策に先行き不透明感があるため、企業は政策環境がはっきりするまでプロジェクトを延期しかねない」とコメントしたように、政治の混乱が、实体经济にも影響を与えることに留意する必要があります。

日米ともに株価動向と政治が密接な関係にある局面

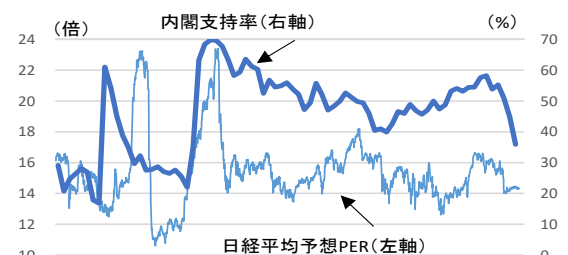
最後に、日本の政治に関してのトピックとして、内閣改造が挙げられます。世論受けを狙った奇抜な人事を廃し、政権運営の安定性を重視した手堅い人事となりました。内閣改造後の支持率を見る限り、大きく回復することはなかったですが、下げ止まりを見せており、安倍首相の狙い通りの動きになったのではないかと思います。図表 2 は日経平均株価の予想 PER の動きと内閣支持率の動きを比較したものです。内閣支持率の低迷は、このところ企業業績が好調にも関わらず、日経平均株価が 2 万円前後で膠着している一つの要因になっているようにも見えます。日米ともに株価動向と政治が密接な関係にある局面と言えます。

図表1: ISM 製造業景況指数と自動車販売台数



出所: Bloomberg

図表2: 日経平均予想 PER と内閣支持率



出所: Bloomberg, RPJ, りそな HD

■外国為替市場

米ドル

予想

ドル円:

ドル円は下落

108.00 - 112.00 円

先週のドル円はほぼ変わらず。1日公表の自動車販売台数が市場予想を下回る結果になったことや政治面で「ロシアゲート」を捜査するモラー特別捜査官が大陪審を選出するとの報道等を手掛かりに下値を試し、110円を割り込む場面も見られた。しかし、週末に公表された雇用統計が予想を上回ったことやコーン米国家会議(NEC)委員長が税制改正に前向きなコメントをしたことで反発し、一時111円台を回復する場面も見られた。

今週のドル円は下落を想定。週初は先週末の流れを受けて、ドル買戻しの流れが継続する可能性がある。ドル円も戻りを試すことが予想されるが、今週で議会は夏休みとなるが政策的な進展は期待しづらいこと、週末の米CPIでは物価の改善テンポは引き続き鈍いことが想定されることから、徐々に買いは一巡。週末にかけて再度ドルは売り直されることが予想される。

ユーロ

予想

ユーロ円:

ユーロ円は下落

128.00 - 133.00 円

ユーロドル:

ユーロドルは下落

1.1500 - 1.2000 ドル

先週のユーロ円、ユーロドルは共に上昇。米国の経済指標下振れや「ロシアゲート」の捜査に関する報道を受けて、ドル売りの動きが加速。ユーロドルは一時2015年1月以来の1.19ドル台を回復する場面もみられた。週末は米国の良好な経済指標や米税制改革の進展期待を受けてドルが買い戻され、上げ幅を削る格好となった。

今週のユーロ円、ユーロドルは下落を想定。週初は先週末の流れを受けて、ドル買戻しが優勢な展開を予想。しかし、週末にかけて、米国の政策進展期待が乏しい中、徐々にドルの上値は重くなることが見込まれる。徐々にユーロが下げ渋るものと予想する。

豪ドル・NZドル

予想

豪ドル円:

豪ドル円は上昇

86.00 - 90.00 円

NZドル円:

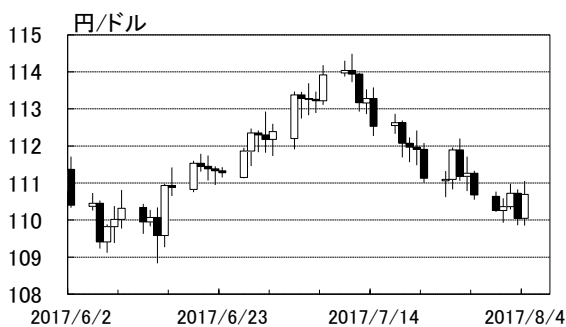
NZドル円は下落

80.00 - 84.00 円

先週の豪ドル円、NZドル円は下落。1日の豪中銀政策理事会で金融政策の据え置きを決めた。声明で「豪ドル高が物価上昇圧力の抑制につながる」と指摘し、豪ドル高への牽制を見せた。経済指標は全般に好調であったものの、豪ドルの圧迫材料となり、豪ドル円は徐々に下値を切り下げた。一方NZドル円も雇用指標が弱く、徐々に下値を切り下げた。

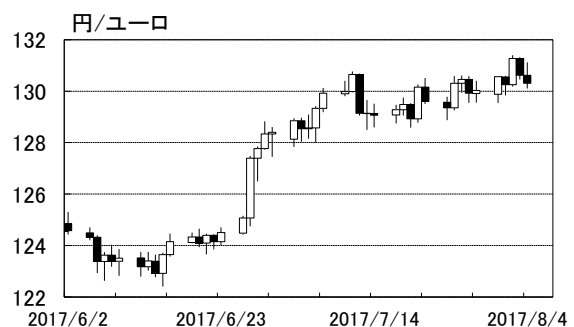
今週の豪ドル円は上昇、NZドル円は下落を想定。オーストラリアのロウ豪中銀総裁の議会証言、企業や家計の景況感指数が注目される。先週発表された指標は全般に良好であり、ロウ豪中銀総裁の発言が楽観的となる可能性がある。一方、ニュージーランドでは政策理事会が開催される。先週の豪中銀同様、為替について慎重な言及をする可能性があり、上値は重いであろう。

図表3: 米ドル円



出所: Bloomberg

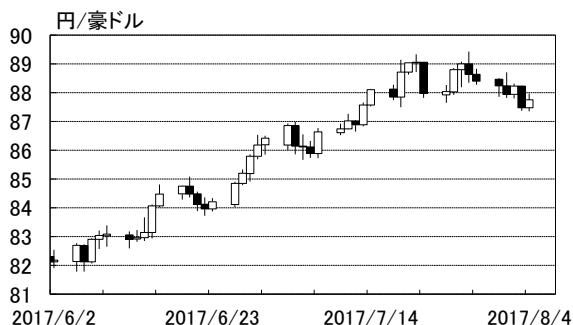
図表4: ユーロ円



出所: Bloomberg

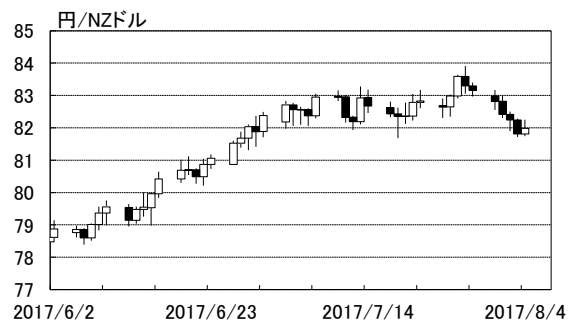
各マーケット・コメントは8月7日(月)09:00現在

図表5: 豪ドル円



出所: Bloomberg

図表6: NZドル円



出所: Bloomberg

■債券市場

国内

予想

金利はもみ合い

TIBOR(3M): 0.045 - 0.065 %

長期金利(新発 10年債):

0.05-0.10%

先週の国内債は上昇(金利は低下)。10年債入札を控える中、金利が上昇する場面も見られたが、入札は無難な結果となった。その後は、欧米金利が総じて低下基調を辿る中で、国内金利もじりじりと低下した。週末は日銀オペが弱い結果となったことを受けて、金利が上昇する場面も見られたが、上昇余地も限定的であった。

今週の国内債は横這いを想定。30年債入札が注目されるが、20年債対比の割安感が出てきており、絶対水準でも0.9%の節目に近いことから、無難にこなされるであろう。日銀によるイールドカーブコントロールのもとで、欧米金利の影響は限定的な環境を見込む。30年債入札後の方向感はいくいであろう。

米国

予想

金利は低下

ドルLIBOR(3M):

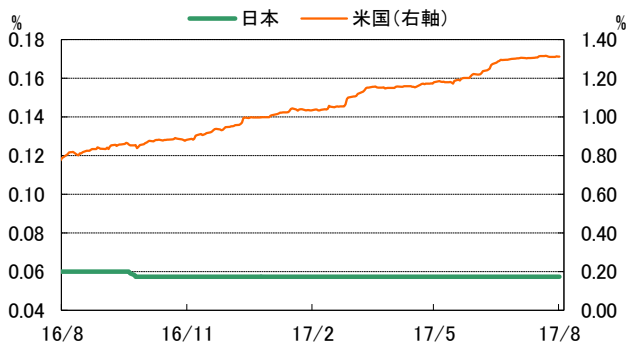
1.30 - 1.35 %

T-note(10年): 2.05 - 2.35 %

先週の米国債は上昇(金利は低下)。米経済指標の下振れ、米政治の不透明感に加え、英国中銀の政策金利据え置きで反対票が少なく英国金利が急低下したこと等を手掛かりに、10年金利は一時2.22%まで低下。週末は、雇用統計が予想を上回ったことや翌週に米入札を控えていることから上昇に転じた。

今週の米国債は上昇(金利は低下)を想定。週初は火曜日からは始まる米国入札(8日3年債、9日10年債、10日30年債)を控えて、上値の重い展開を予想。しかし、入札による調整を経て、徐々に金利上昇が一服する展開を見込む。週末にかけては、政策進展の遅れから、リスク資産にも調整圧力がかかりやすく、米国債のサポート材料となる。

図表7: 日米短期金利



出所: Bloomberg

図表8: 日米長期金利



出所: Bloomberg

各マーケット・コメントは8月7日(月)09:00 現在

■株式市場

日経平均

予想

日経平均は下落

19,500 – 20,200 円

先週の日経平均はほぼ変わらず。決算好調な銘柄への買いや米通信機器大手の好決算を手掛かりに、日経平均は 2 万円台を回復する場面も見られた。しかし、週末は為替が円高傾向に振れたことや米ハイテク株の上値が重かったこと等を手掛かりに調整し、再度 2 万円台を割り込んだ。

今週の日経平均は下落を想定。円高の一服を好感し、週初は戻りを試す展開が予想される。しかし、米国株式市場で政策の進展がなければ徐々に上値が重くなる展開が見込まれる。週末に日本の連休を控えていることもあり、ポジションの手仕舞いから売り圧力がかかりやすいであろう。

NY ダウ

予想

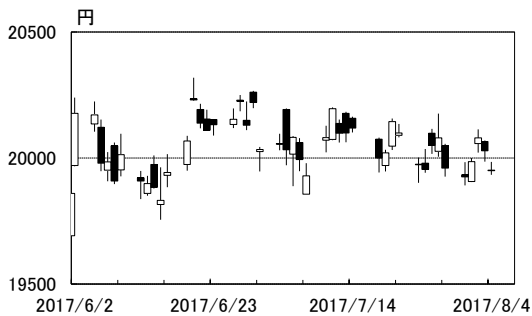
ダウは下落

21,500 – 22,200 ドル

先週の NY ダウは上昇。好決算銘柄を中心に買いが集まり、堅調推移。週末はコーン米国家会議(NEC)委員長が「税制改正を年内に成し遂げる自信がある」とコメントしたことも政策期待につながった。結局 NY ダウは 9 日続伸となり、過去最高値を更新した。一方、S&P500 は前週比ほぼ変わらず、ナスダック総合指数は前週比下落となっており、まちまちの動き。週間で S&P11 業種ベースでは 4 業種が上昇。金融、公益事業、資本財が上位に並んだ。

今週の NY ダウは下落を想定。連日の上昇によりテクニカル的な割高感がある中、政治的には「ロシアゲート」の捜査や税制改正や 9 月以降の政府閉鎖の議論を抱えており、徐々に上昇一服となりやすい。既にナスダック総合指数や S&P500 が伸び悩んでいることもあり、NY ダウも週末にかけて調整圧力がかかりやすいものと予想する。

図表9: 日経平均



出所: Bloomberg

中国株

上昇、景気への楽観的な見方が広がった

先週の中国株は上昇。前半は良好な製造業 PMI などを受けて中国景気に安心感が広がり、5 日続伸。一方、その後は高値警戒感が意識されたことや、人民銀行(中央銀行)が資金供給を実施したものの量的には不十分との見方から警戒感が強まり、値を下げる展開となった。

インド株

上昇、利下げ期待から値を上げ一時最高値更新

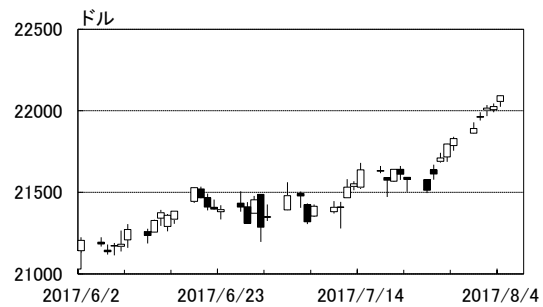
先週のインド株は上昇。週初より、利下げ期待を受けて銀行株などを中心に買いが入った。週半ばに一時最高値を更新したが、利下げが決まると材料出尽くし感から、利益確定売りが入り、利ざや縮小への懸念から銀行株などを中心に下落した。週末は耐久消費財銘柄に買いが広がり、上昇した。

ブラジル株

上昇、原油高やテメル政権への見方を好感

先週のブラジル株は上昇。原油価格の上昇を受けて、資源株に買いが広がったほか、汚職疑惑のテメル大統領が任期中に裁判にかけられる可能性が低いとの見方を受けて、週半ばまで5日続伸。一方、週後半は利益確定売りに押された。

図表10: NY ダウ



出所: Bloomberg

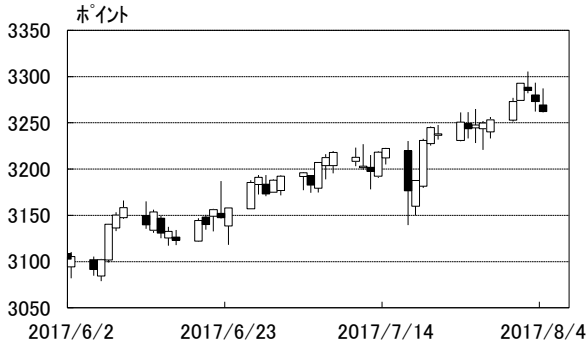
各マーケット・コメントは 8 月 7 日(月)09:00 現在

ロシア株

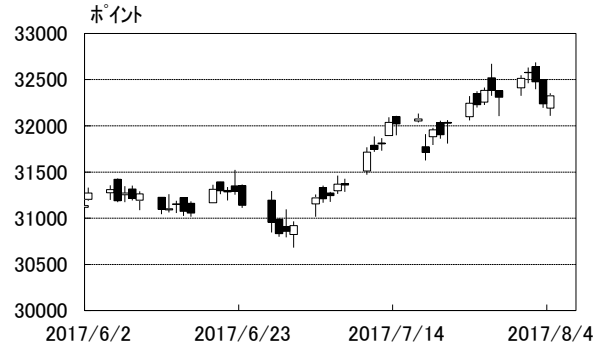
上昇、原油高やルーブル安を好感

先週のロシア株は上昇。原油価格の上昇やルーブル安を受けて週半ばに向けて堅調に推移したが、トランプ米大統領が対ロシアの追加制裁案に署名したことを受けて、伸び悩んだ。

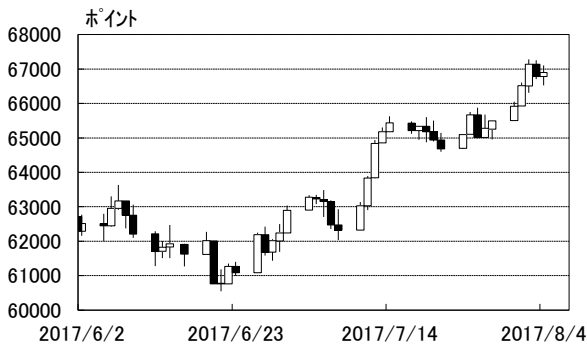
図表11: 中国上海総合指数



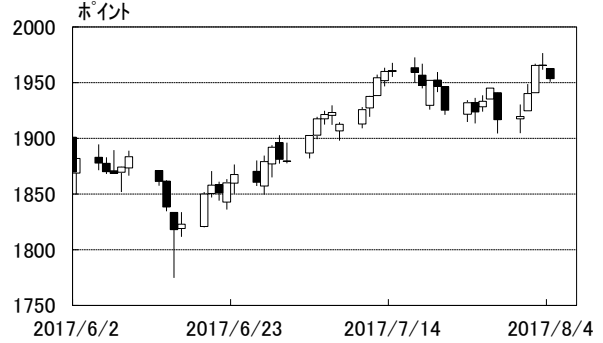
図表12: インド SENSEX 指数



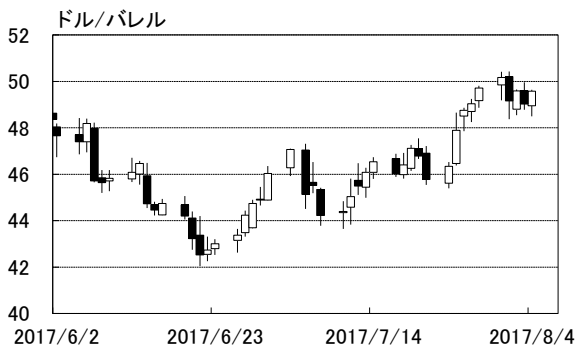
図表13: ブラジル BOVESPA 指数



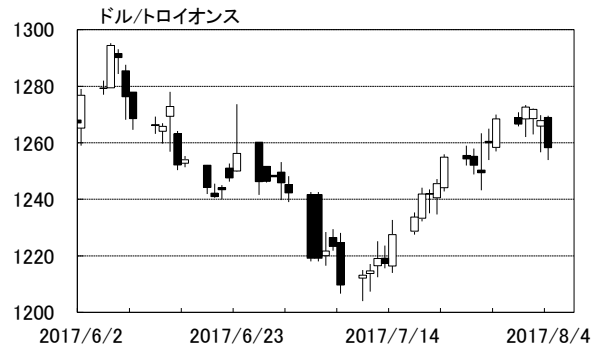
図表14: ロシア MICEX 指数



図表15: WTI 原油先物(期近物)



図表16: NY 金先物(期近物)



出所: Bloomberg

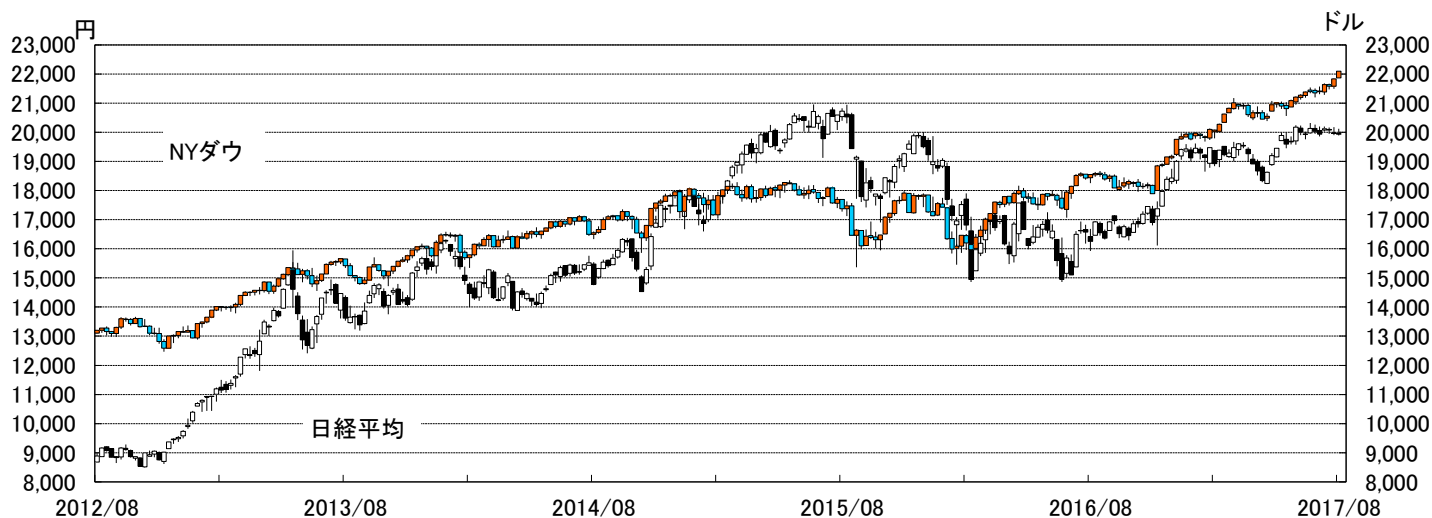
出所: Bloomberg

作成: りそなホールディングス 市場企画部

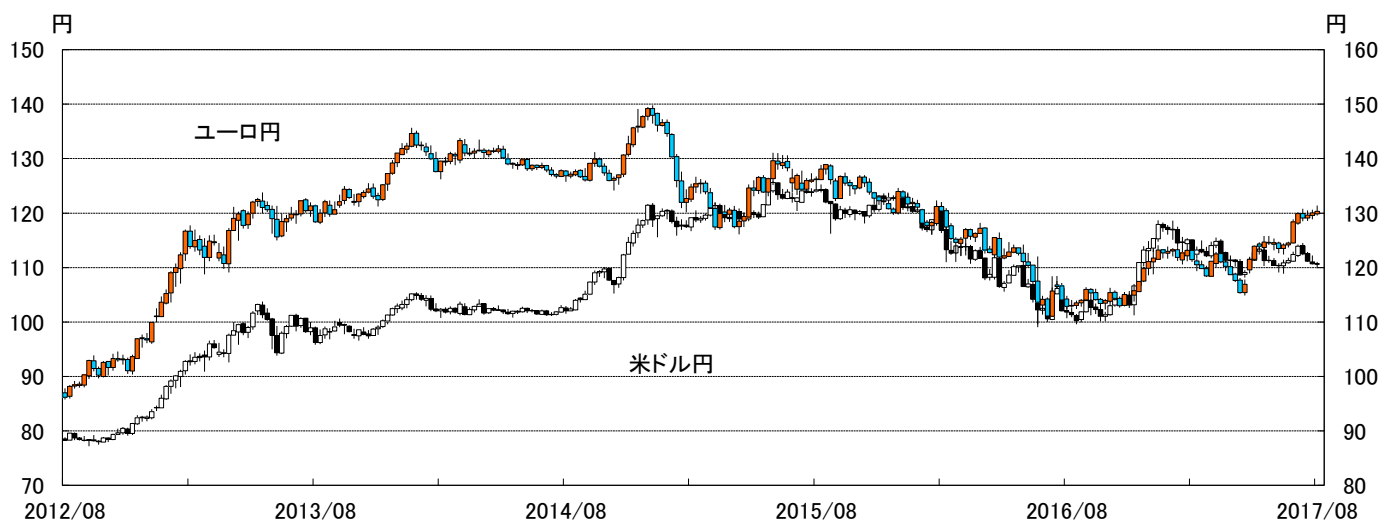
梶田伸介
高木健矢
中條仁美

■過去5年間の相場推移

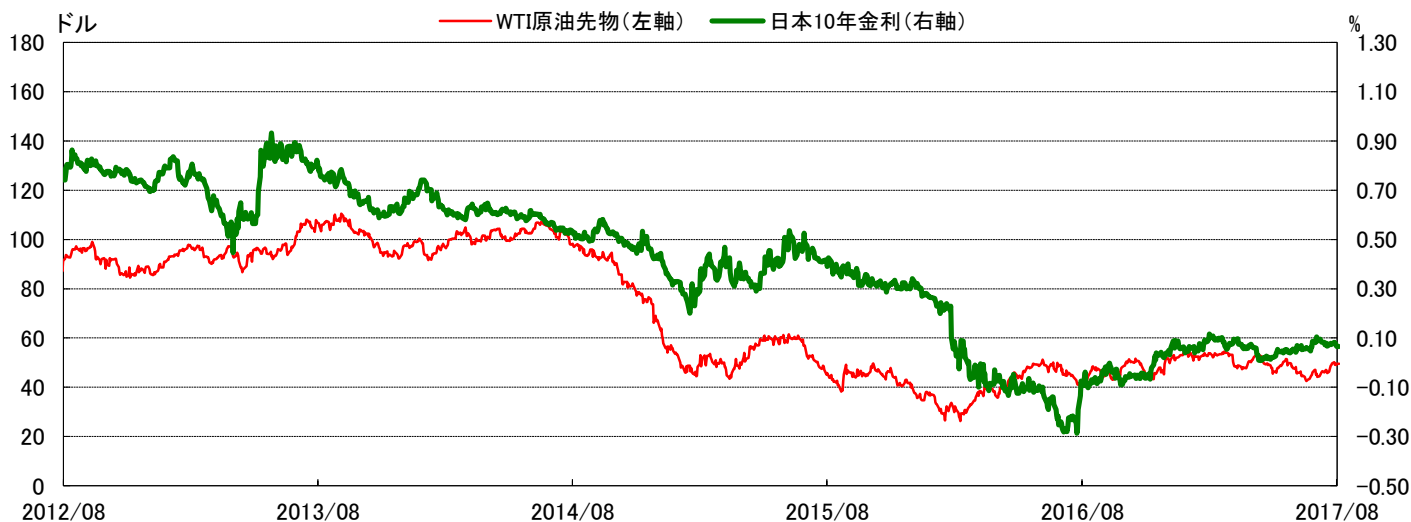
図表17: 日経平均(左軸)とNYダウ(右軸)



図表18: 米ドル円とユーロ円



図表19: WTI原油先物と日本10年金利



出所: Bloomberg

各マーケット・コメントは8月7日(月)09:00 現在

◎表紙の注意事項をよくお読みください。

■マーケットカレンダー

	日本	米国	その他
7/31(月)	★6月鉱工業生産 6月住宅着工件数	6月中古住宅販売予約指数 7月シカゴ地区製造業PMI	★(EU)7月HICP (EU)6月失業率 (中)7月PMI製造業
8/1(火)	10年債入札	6月建設支出 6月個人所得・消費支出 7月ISM製造業景況感指数	(豪)準備銀行理事会
8/2(水)	7月マネタリーベース 7月消費動向調査	7月ADP民間雇用調査	
8/3(木)	10年物価連動国債 国庫短期証券(3ヶ月)	6月製造業受注 7月ISM非製造業景況感指数	(EU)6月小売売上高 (豪)6月貿易収支
8/4(金)	6月毎月勤労統計	★7月雇用統計 6月貿易収支	★(独)6月製造業受注 (豪)6月小売売上高
	<p>前年比% — CPI(総合) — CPI(コア)</p> <p>コンセンサス予想:前年比+1.8% (6月実績:+1.6%)</p> <p>出所: Bloomberg</p>	<p>前年比% — CPI — CPI食品 — CPI非食品</p> <p>コンセンサス予想:前年比+1.5%(6月実績+1.5%)</p> <p>出所: Bloomberg</p>	
8/7(月)	6月景気動向指数	6月消費者信用残高	<豪> バンクホリデー ★(中)7月貿易統計 ★(独)6月鉱工業生産 ★(独)6月貿易収支
8/8(火)	★7月景気ウォッチャー調査 30年債入札 6月国際収支 7月貸出・預金動向 国庫短期証券(6ヶ月)		
8/9(水)	7月マネーストック 国庫短期証券(3ヶ月)		★(中)7月CPI
8/10(木)	★6月機械受注 6月第3次産業活動指数 国庫短期証券(2ヶ月程度)	7月財政収支	(NZ)準備銀行理事会 (英)6月鉱工業生産・製造業生産
8/11(金)	<山の日>	★7月CPI	
8/14(月)	★4-6月期GDP1次速報値		★(中)7月鉱工業生産 ★(中)7月小売売上高 (EU)6月鉱工業生産 (中)7月固定資産投資
8/15(火)	6月稼働率	★7月小売売上高 6月企業在庫 6月対米証券投資 7月輸入物価指数 8月NY連銀製造業景況感指数	(英)7月CPI
8/16(水)	国庫短期証券(1年)	★7月住宅着工	(EU)4-6月期四半期GDP (英)7月失業率
8/17(木)	★7月貿易統計 5年債入札 国庫短期証券(3ヶ月)	★7月鉱工業生産 7月景気先行指数 8月フィラデルフィア連銀製造業景況感指数	(EU)7月CPI (豪)7月失業率
8/18(金)			(独)7月PPI
8/21(月)	6月全産業活動指数	7月シカゴ連銀全米活動指数	
8/22(火)	20年債入札	8月リッチモンド連銀製造業景況感指数	★(独)8月ZEW景気期待指数
8/23(水)		★7月新築住宅販売 ★7月中古住宅販売件数	(EU)8月消費者信頼感指数
8/24(木)	国庫短期証券(3ヶ月) 流動性供給入札(残存期間5年超15.5年以下)		
8/25(金)	★7月CPI 日銀金融経済月報		★(独)8月IFO景況指数
8/26(土)			★(独)7月小売売上高

【以降の主要日程】
 <国債入札> 2年債(8/31、9/28、10/26)、5年債(9/12、10/19)、10年債(9/5、10/3)、20年債(9/14、10/17)、30年債(9/7、10/11)、40年債(9/26)
 <日銀金融政策決定会合> 9/20-21、10/30-31、12/20-21、[2018年]1/22-23、3/8-9、4/26-27、6/14-15、7/30-31、9/18-19、10/30-31、12/19-20
 <米・連邦公開市場委員会(FOMC)> 9/19-20、10/31-11/1、12/12-13、[2018年]1/30-31、3/20-21、5/1-2、6/12-13、7/31-8/1、9/25-26、11/7-8、12/18-19
 <ECB定例理事会> 9/7、10/26、12/14、[2018年]1/25、3/8、4/26、6/14、7/26、9/13、10/25、12/13

■市場相場動向 (7/31~8/4)

		7/31(月)	8/1(火)	8/2(水)	8/3(木)	8/4(金)		
国内金利	無担保コール	オーバーナイト物	-0.064	-0.063	-0.063	-0.057	-0.054	
	日本円TIBOR	3か月	0.05727	0.05727	0.05727	0.05727	0.05727	
		6か月	0.10636	0.10636	0.10636	0.10636	0.10636	
	円短期金利先物	17/9限	99.935	99.940	99.935	99.935	99.930	
	利付2年国債	新発債	-0.120	-0.120	-0.120	-0.120	-0.115	
	利付5年国債	新発債	-0.065	-0.065	-0.065	-0.070	-0.065	
	利付10年国債	新発債	0.073	0.070	0.070	0.065	0.060	
	利付20年国債	新発債	0.585	0.586	0.576	0.570	0.570	
	債券先物	17/9限	150.16	150.13	150.16	150.19	150.26	
	円/円スワップ	2年	0.03877	0.04000	0.04000	0.04056	0.04000	
5年		0.10501	0.10875	0.10655	0.10753	0.10500		
10年		0.25378	0.25999	0.25653	0.25663	0.25244		
20年		0.64957	0.65684	0.65282	0.65157	0.64442		
海外金利	米金利	FFレート	1.06	1.16	1.16	1.16	1.16	
		TB(3か月)	1.072	1.067	1.067	1.073	1.070	
		T-NOTE(10年債)	2.294	2.253	2.271	2.221	2.262	
	L I B O R	日本円(3か月)	-0.01579	-0.01421	-0.01707	-0.01421	-0.01750	
		米ドル(3か月)	1.31056	1.31056	1.31278	1.31167	1.31194	
		ユーロ(3か月)	-0.37729	-0.37729	-0.37729	-0.37300	-0.37271	
		英ポンド(3か月)	0.28613	0.28544	0.28806	0.29063	0.27838	
		スイスフラン(3か月)	-0.72560	-0.72560	-0.72560	-0.72560	-0.72560	
豪ドル(3か月)	1.69000	1.69000	1.69000	1.69000	1.69000			
NZドル(3か月)	1.96000	1.95000	1.97000	1.96300	1.95000			
外国為替	東京	ドル・円(仲値)	110.35	110.29	110.45	110.77	110.02	
		ユーロ・円(仲値)	129.61	130.42	130.50	131.15	130.70	
		豪ドル・円(仲値)	87.95	88.45	88.03	87.95	87.52	
		NZドル・円(仲値)	82.98	82.88	82.12	81.97	81.91	
		ドル・円(15:30時点)	110.61	110.23	110.72	110.64	110.12	
		ユーロ・円(15:30時点)	129.73	130.23	130.91	131.04	130.79	
		ユーロ・ドル(15:30時点)	1.1729	1.1815	1.1825	1.1844	1.1877	
		ドル円直先スプレッド(3か月、銭/ドル)	d 47.5	d 48.1	d 47.8	d 46.5	d 46.5	
	NY	ドル・円	110.26	110.36	110.72	110.05	110.69	
		ユーロ・ドル	1.1842	1.1802	1.1856	1.1870	1.1773	
		英ポンド・ドル	1.3215	1.3203	1.3223	1.3138	1.3040	
		スイスフラン・ドル	0.9669	0.9657	0.9709	0.9686	0.9727	
	株式	東京	日経平均(225種/円)	19925.18	19985.79	20080.04	20029.26	19952.33
			東証株価指数(TOPIX)	1618.61	1628.50	1634.38	1633.82	1631.45
日経ジャスダック指数			3340.12	3301.86	3326.29	3314.88	3320.60	
東証マザーズ指数			1154.52	1108.87	1125.90	1110.25	1117.80	
東証1部出来高(百万株)			2334.55	1944.53	1718.45	1680.63	1515.00	
海外		NYダウ(ドル)	21891.12	21963.92	22016.24	22026.10	22092.81	
		ナスダック総合指数	6348.12	6362.94	6362.65	6340.34	6351.56	
		中国上海総合指数	3273.03	3292.64	3285.06	3272.93	3262.08	
		SENSEX(インド)	32514.94	32575.17	32476.74	32237.88	32325.41	
		ブラジルボベスパ指数	65920.36	66516.23	67135.99	66777.13	66897.98	
MICEX指数(ロシア/ドル建)	1919.53	1940.14	1965.48	1965.29	1953.49			
商品	金(NY先物、期近)(ドル)	1266.60	1272.60	1271.80	1267.80	1258.30		
	原油(WTI先物、期近)(ドル)	50.17	49.16	49.59	49.03	49.58		
	CRB先物指数	182.64	180.76	182.00	180.65	180.68		

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください